

横浜市立山王台小学校 令和2年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針



(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
自分のよさに気付き、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる	<問題発見・解決能力> <コミュニケーション力> <自他を理解する力>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○学校教育目標を実現するために、全教職員が学校経営に主体的に参加し、子どもたちにとって魅力ある学校、保護者・地域に信頼される学校づくりを目指します。 <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもが、集団で学ぶことの楽しさを味わいながら主体的に学ぶことができる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。 児童理解を深め、一人ひとりの子どもが安心して学校生活をおくれる体制作りを進めます。 豊かな心と健やかな体を育成し、よりよく生きていくことができるよう、指導や活動の充実を図ります。 家庭、地域と連携し、まちとともに歩む学校づくりを進めます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①問題解決学習を重視し、個に応じた指導の工夫を行う。②朝スタ・学校図書館などを有効的に使って語彙を増やしたり、学習の定着を図ったりする。③各教科において、自分の言葉で表現する時間を設定し、日常生活に生きて働く力としてのコミュニケーション力を育成する。
担当 学習指導・評価委員会	

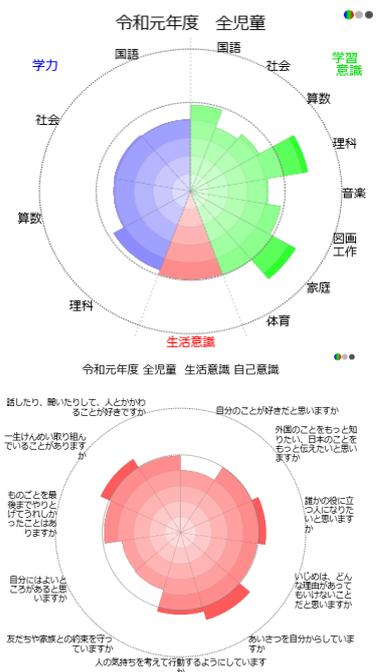
2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 児童全体の学力と意識の傾向について

学力面では昨年同様各教科市の平均を下回る結果となった。その中で昨年度と比較すると理科、社会の成績が少し伸びていた。学習意識については理科、家庭科に対する意識が非常に高くなっている。特に理科では「理科の勉強が好き」「観察・実験が好き」と答えた児童が多く、家庭科では、「家庭科の勉強が好き」「家庭科の勉強は大切」の項目が高く、学年ごとに見ると1年、6年の学力は比較的高いが、逆に他の学年は大きく市の平均を下回る結果となっている。

(2) 生活意識（自己意識）の結果から

生活意識全体をまとめた結果は市と同じような数値であるが、項目ごとに見ていくと、「あいさつを自分からしている」「一生懸命取り組んでいることがある」などが比較的高い数値となっている。逆に「自分のことが好き」「自分にはよいところがある」などの項目で低い数値となっており、自己肯定感の低い児童が多いということがいえるのではないかと考えられる。



3 R2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	A 自分の興味・関心を 基に学習課題を決める力 B 話を集中して聞き、 知りたいことを尋ねたり、 どのような言葉で応じたりし ようかと考えている姿 C 自分のやるべきこと をしっかりと行っている姿	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活の人との関わりや学習を通して語彙力を高め、自分の気持ちが相手に伝わるような話し方を身に付ける。 ○帰りの会で友だちのよい所を発表し合う機会を設け、友だちのよさに気付く子どもに育てる。 	
2年		<ul style="list-style-type: none"> ○どのような学習でも自分なりの意見や考えを表現する場を設ける。 ○グループ活動を通して考えを共有し、自分の考えを深めさせる。 ○子どもの実態に応じた分かりやすい課題を提示し、見通しをもった学習計画を立てて、学ぶ意欲を高める。 	
3年	A 課題解決のために 内容の見通しをもって学習計画を立てる力	<ul style="list-style-type: none"> ○学び合いを通して学習する楽しさを味わわせる。 ○道徳の時間をはじめ学校生活の中で、気持ちのよい挨拶や相手を思いやる言葉遣いができるように指導していく。 	
4年	B 相手の話の要点や 中心点を聞き取り、 更に聞こうとしている姿 C 自分で決めた目標 に向かって、粘り強く やり抜こうとしている姿	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活の様々な場面を通して、相手意識をもつことができるようにし、相手を思いやる言葉遣いができるように指導していく。 ○語彙力を身に付け、自身の考えを言葉、図や表など様々な方法を用いて伝えたり、他者の考えを聴いたりすることで、自身の考えを深めることができるようにしていく。 	
5年	A 課題解決のために 内容や方法の見通しをもって考え、学 習計画を立てる力	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科で、ペア、グループなどの話し合い活動を充実させ、自分の思いや考えを伝える力を高める。 ○「言葉の宝箱」を活用した200字作文を1年間継続することで、語彙を豊かにし、表現する力を高める。 	
6年	B 相手の答えと自分の 考えや経験とを 比べながら聞き、 相づちを打ったり感 想を伝えたりして いる姿 C より高い目標を立て、 困難があってもくじけず に努力して、物事をやり 抜こうとしている姿	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決に必要な事柄を考え、図書資料、インタビュー、インターネットなど複数の手段を用いることができるようにする。 ○自身の考えを口頭だけでなく、図や表を用いるなどの方法で伝えたり、他者の考えを聴いたりすることで、自身の考えを深めていく。 ○最高学年として、下学年への手本となる言動について考え、仲間と協力して取り組むことのよさを見いだす。 	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">個別支援学級</p>	<p>A 学習の進め方の見通しをもつ力 B 話を集中して聞き、知りたいことを尋ねたり、どのような言葉で応じたりしようかと考えている姿 C 自分のやるべきことをしっかりと行っている姿</p>	<p>○具体的な学習計画を知り、学習に対して楽しみな気持ちをもつ。 ○生活、総合等、学級全体の活動の中で各自めあてを意識して取り組む。 ○国語や生活単元学習の時間の中で、自分の思いを表現する方法を学ぶ。</p>	
---	--	---	--